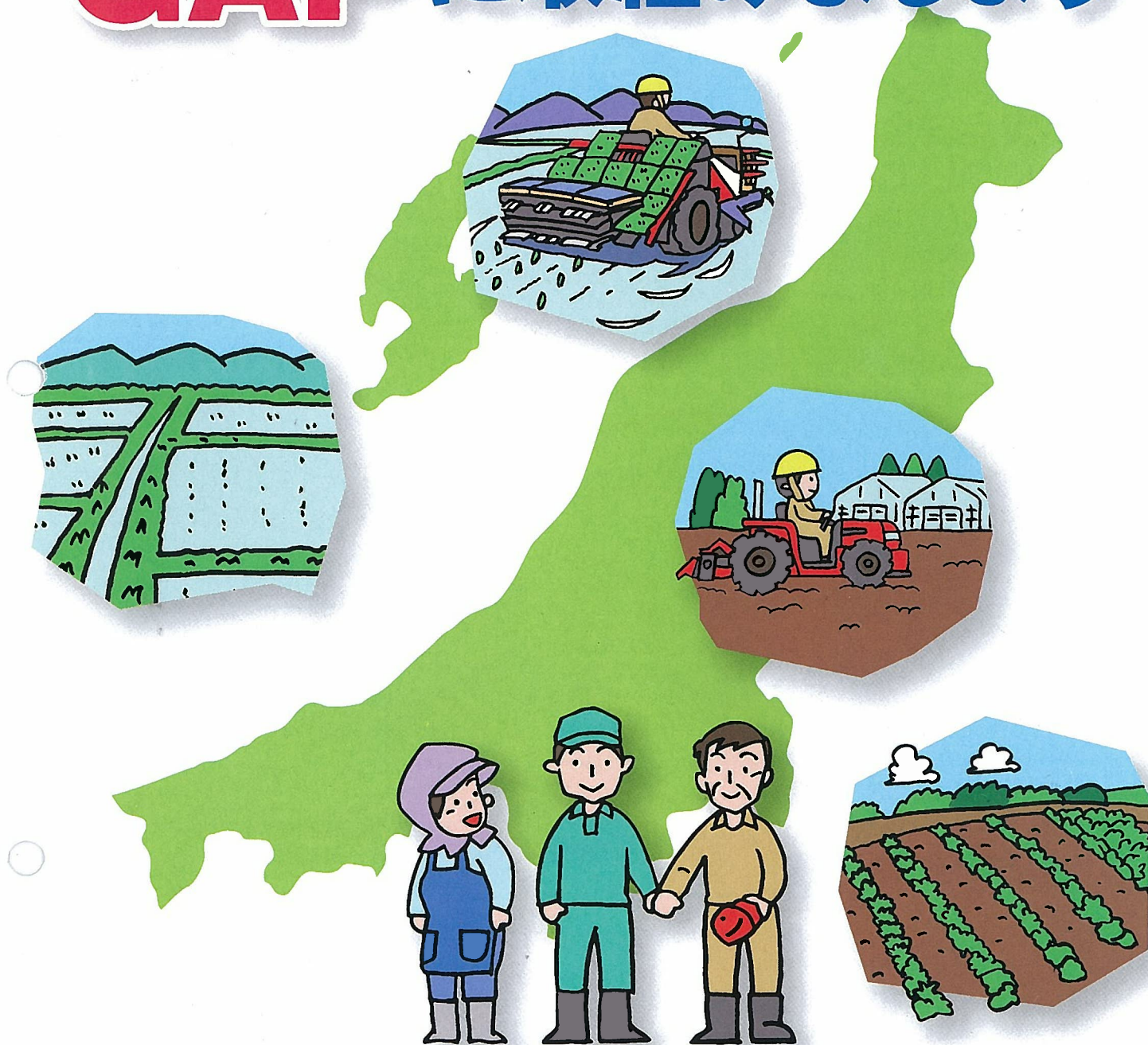


人と環境に優しい農業の実現のために

GAP に取組みましょう



GAPとは、直訳すると「良い(Good)」「農業の(Agricultural)」「実践(Practice)」という意味です。農業生産活動に潜むリスク(危険度)を把握して対応策を講じるとともに、これまで習慣になっていた「不適切な農業の行為」があればそれらを改善することで、未来に向けて安定した経営管理を続けるために取り組むものです。

新潟県では、県内の農業者がGAPを実践するための指針として「新潟県GAP規範」を平成24年12月に策定し、農業者のGAPの取組を進めるべく、普及啓発に努めています。

日常の農業生産活動の中で、農業に関わる様々な法令を守ること、環境に配慮し、安全・安心な農産物を生産・提供すること、また、作業者の農作業事故を防止することは農業者・経営主としての責任であり義務でもあります。

また、それらを怠り、「不適切な農業」を行うことで、自分のみならず地域全体の悪評につながったり、農業が続けられなくなる可能性があります。

食品安全 について

「食品」を提供しているという
意識をもとう

食品事故は生命や健康被害に直結する重大な問題になりえます。残留農薬の基準値を超えていますか。ウイルスや病原菌は完全に排除していますか。

農産物品質 について

安さでは輸入に勝てません

農産物については、安全性はもちろん、味や鮮度、外観等、消費者が求める農産物の要求にきちんと応えることが大切です。

我が家の経営安定 のために…

あなたの農場に法令違反や不適切な農業行為、うっかりミスはありませんか。まず、足元を見直すことから始めましょう

農業作業事故 について

一つの事故が廃業に
つながることも

毎年全国で約400人の方が農業作業中に亡くなっています。農業機械は使い方しだいで凶器にもなり得ることを認識することが必要です。

農業と環境汚染 について

農業が地域の汚染源に
ならないように

土壌や地下水・河川・湖沼の汚染の原因の一つに農業があると言われています。環境は一度汚染されると浄化することは容易ではありません。子供たちの世代に安全な環境を残すため、配慮することが必要です。

消費者の信頼 について

うそをついたら見放されるのは
一流会社も農業も同じ

経営者は企業倫理、生産者は農業倫理が問われています。美しい農村風景や美味しい農産物が支持されるためには、消費者からの信頼が不可欠です。

GAP (良い農業の実践) で、

期待される農業を実現!





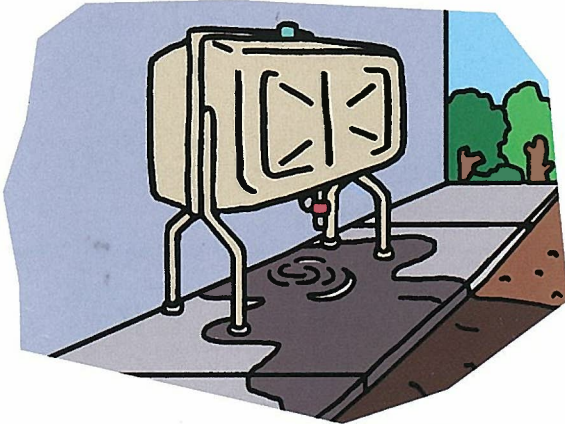
GAPという「良い農業」が他にあるわけではありません。あなたが今行っていることのほとんどは**GAP(良い農業)**です。しかし、法律が変わったり、農業の技術が変わったりして、経験や勘だけでは判断できない事柄や、客観的に確認できない(見えない)部分が、**BAP(不適切な農業行為: Bad Agricultural Practice)**につながっているかもしれないのです。そこを「リスク」として認識しているかが重要なんです。



危険物の不適切な保管

例えば…農薬や燃料は安全に保管していますか？
時に法令違反につながることも…

- 燃料タンクからの油漏れの対策を(防油堤や溝の設置)をしていない。
- 農薬の保管が不適切
- 誰でも入れる場所に農薬が置いてある
- 消火器が備え付けられていない



農作業事故の発生

例えば…農作業中に「ヒヤリ」「ハッと」したことはありませんか？
また、作業中危ないと思った事について、家族や従業員に情報をつないでいますか？

- ほ場の進入路が軟弱で、トラクタでほ場に入る際バランスを崩した
- フォークリフトの作業中に、人や物に接触しそうになった。
- コンバインに詰まったワラを取り除いていて、あやうく指が巻き込まれそうになった。



クレームの発生・説明不足

例えば…クレームや問題発生時にうまく説明できなかったことはありませんか？



作業日誌・販売伝票はあるけれど…



悪いことはしていないのに
証明できない…

勘違いやうっかりミス

例えば…

連絡の行き違いや、勘違いによる問題が発生したことはありませんか？



その他にも…



あたりまえのことばかりだけど、ちょっとした見落としが大きな問題になることがあるよね。



問題が起こってから対応するのではなく、未然に防止するために、BAPが何か、どの程度の問題かを知ることが重要なんですよ。